



春日小だより

平成29年3月9日
練馬区立春日小学校
校長 泉崎 春海
学校通信 臨時号

平成28年度 春日小学校 学校評価結果について

校長 泉崎 春海

「平成28年度 教育活動についてのアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。春日小学校では、教育活動の改善・充実のために「学校評価」を行っています。「学校評価」では、保護者や地域の皆様のアンケートや児童のアンケート、教職員の自己評価を行った上で、それらの結果について、学校評議員の方々にご意見をいただく「学校関係者評価」を実施しました。学校評価の結果から分かった成果や課題を十分に検討し、平成29年度の教育活動に活かしていきたいと思っております。

〈凡 例〉



【とても思う】



【思う】



【あまりそう思わない】



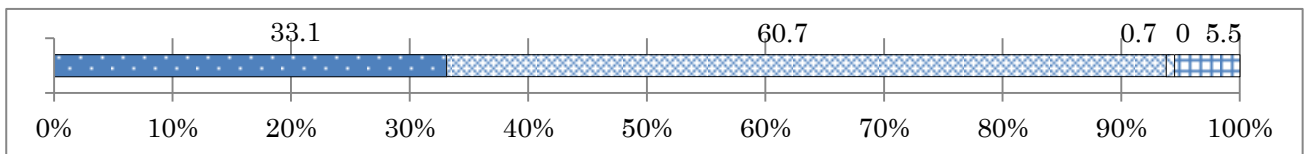
【思わない】



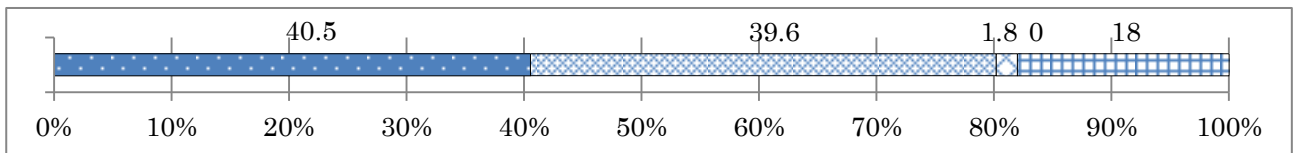
【わからない】

1 保護者のアンケート結果

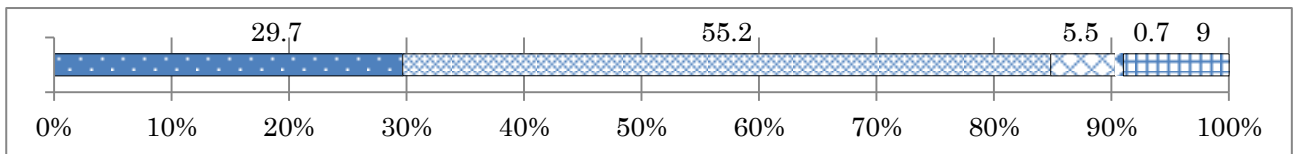
(1) 学校では、わかりやすい授業を行っている。



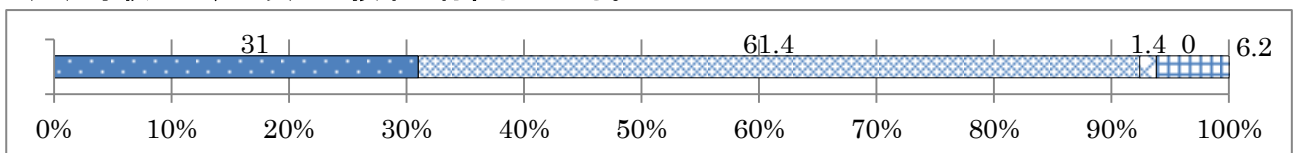
(2) 算数では少人数授業を行うことで、学習がわかりやすくなっている。(3～6年)



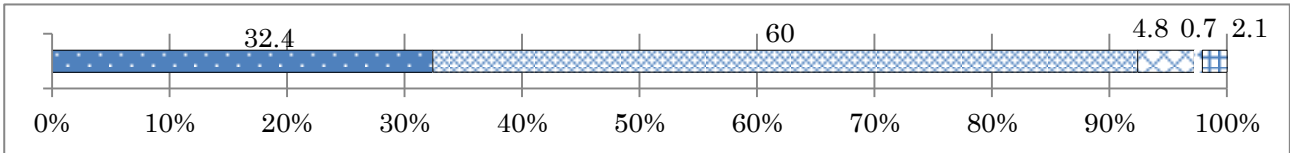
(3) 学校では、授業の約束が守られている。



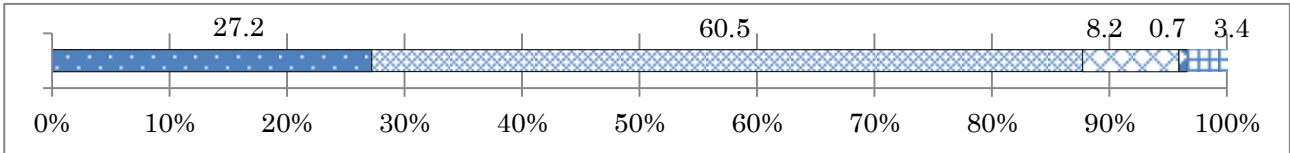
(4) 学校では、工夫した授業が行われている。



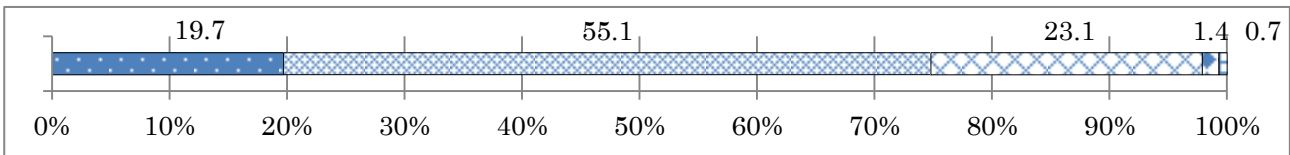
(5) 子供は、授業を通して基礎的な力を身に付けている。



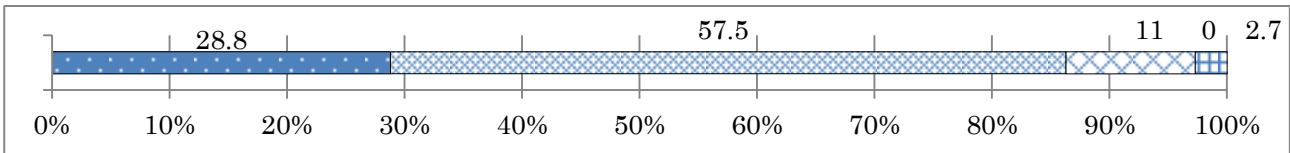
(6) 子供は、基本的な生活のきまりを身に付けている。



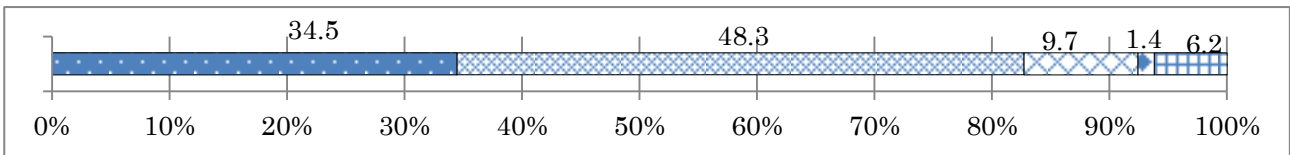
(7) 子供は、あいさつができています。



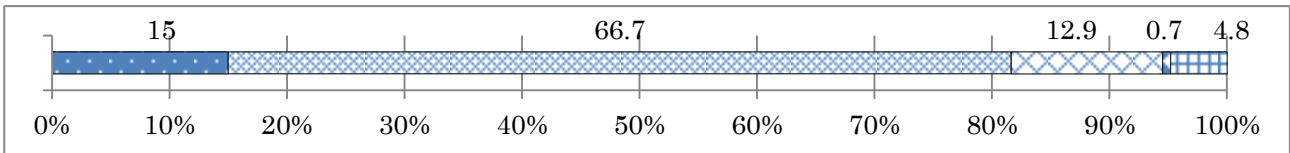
(8) 子供に、まわりの人に対する思いやりや親切な心が育っている。



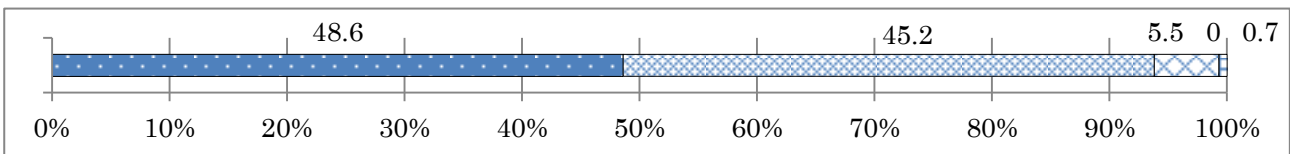
(9) 子供は、元気に過ごせるように、睡眠や食事をきちんととっている。



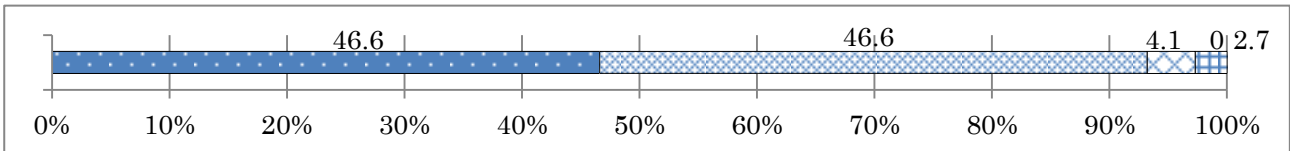
(10) 子供は、事故や危険なことから自分の身を守るように行動している。



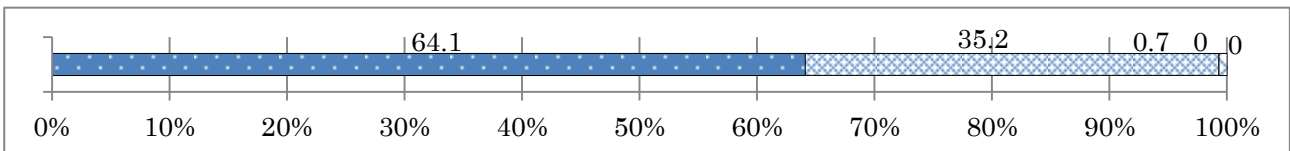
(11) 学校は、保護者会や個人面談、学校だより、ホームページなどを通して、学校や子供たちの様子を分かりやすく伝えている。



(12) 学校は、家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる。



(13) 学校の教室や廊下、特別教室、校庭などの環境整備は行き届いている。



【 考 察 】

(1) 「学校ではわかりやすい授業を行っている」について

「とてもそう思う」「そう思う」という肯定的評価が93.8%でした。保護者・地域の方のご意見に「子供が『授業が楽しい!』と言っているので、嬉しく感じる。」などがありました。今後も、子供が「できた」「分かった」と感じることができる授業を目指し、学習のめあてを明確にした授業を行って、学習内容がしっかりと身に付くようにしていきます。

(2) 算数科「少人数授業(3~6年)」について

肯定的な評価が80.1%で「意欲的に勉強しているように思える。」「『算数が好き』と言っているので、先生のよい授業・声かけのおかげだと感じている。」というご意見がありました。今後も、子供たちの学習状況にあったコースで分かりやすく学習できるようにしていきます。また、次年度は、1・2年生の算数科の学習に学力向上支援講師が入り、担任と共に授業を行う予定です。低学年の段階から、一人一人の子供の学習について、よりきめ細かく見て支援していきたいと思っています

(3) 「学校では授業の約束が守られている」について

肯定的な評価が84.9%でした。「校内を回ると、静かに集中して学習していてよいと思う。」というご意見もありました。今後も、学習の基盤となる「落ち着いて学習に取り組む習慣」をしっかりと身に付けていきます。

(4) 「学校では工夫した授業が行われている」について

92.4%という高い評価をいただきました。社会科見学や町探検などの校外学習、各教科での体験的な活動を多く取り入れていることが評価の理由としてあげられています。子供たちの意欲を高めるような指導の工夫をしていくとともに、保護者や地域の方々のお力をお借りしながら、子供たちが様々な活動をできるようにしていきます。

(5) 「子供は、授業を通して基礎的な力を身に付けている」について

肯定的な評価が92.4%でした。「授業で子供たちの様子を見ると、しっかりと教えてもらっている」というご意見もいただきました。「学習したことが分かっているのか少し心配もある」というご意見もあったので、子供たちの学習の様子や発言、ノートやプリント等をしっかりと見て、個別に指導を行っていきたくと考えます。

(6) 「子供は基本的な生活のきまりを身に付けている」について

87.7%の方が肯定的な評価をしてくださいました。「休み時間が終わると、すぐに教室に帰ってくる姿がよいと思う。」というご意見がありました。今後も、『春日の一日のやくそく』をどの学年でも継続して指導していくとともに、子供が自分で考えてきまりを守るようにしていきたいと思っています。

(7) 「子供はあいさつや返事ができている」

肯定的な評価が74.8%で、13項目中、唯一80%を下回る結果でした。「校内で、知らない子供からも『こんにちは』と声をかけられて気持ちがよい。」「6年生が、すすんであいさつをするのはとてもよい。」というご意見がありました。しかし、「朝、こちらからあいさつをしても、あいさつを返さない子供がいる。」というご意見もありました。今年度はあいさつを促す掲示物を作成して指導に活用してきました。次年度も『あいさつ週間』など、他の方策も考えて実施していきます。また、『あいさつ』の意義についても、子供たちに話し、理解させていくことにも力を入れていきます。

(8) 「子供に、まわりの人に対する思いやりや親切な心が育っている」について

86.3%の肯定的な評価をいただきました。「春日小はアットホームな雰囲気です、子供たちにやさしい心が育っていると思う。」というご意見がありました。子供たちに豊かな心を育てるために、自分もまわりの人にも大切にすることを様々な場面で指導し、よい行動は褒めて、子供の意識を高めていきます。また、『カスガモランド』などの異学年交流を通して、思いやりや親切な心、自主性なども育てていきたいと思っています。

(9) 「子供は、元気に過ごせるように、睡眠や食事をきちんととっている。」について

肯定的な評価は82.8%でした。今年度も「健康についてのリーフレット」を配布して、子供たちが自分の生活を振り返るようにしました。学校だけでなく、ご家庭でも健康について親子で考えていくことができるようにしていきます。

(10) 「子供は、事故や危険なことから自分の身を守るように行動している」について

肯定的な評価は81.7%でした。様々な内容の避難訓練を毎月実施したり、保護者や地域の方々のご協力を得て「総合防災訓練」を実施したりすることで、事故や危険なことから自分の身を守る行動ができる力を育てていきたいと考えます。

(11) 「学校は、保護者会や個人面談、学校だより、ホームページ（HP）などを通して、学校や子供たちの様子を分かりやすく伝えている。」について

93.8%の肯定的な評価をいただきました。これからも、さまざまな方法で学校の教育活動や子供たちの様子を伝えていきます。HPについては、可能な限り、学校行事や学校生活、学習などについて、より多くアップしていけるように努めていきたいと思ひます。

(12) 「学校は、家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる」について

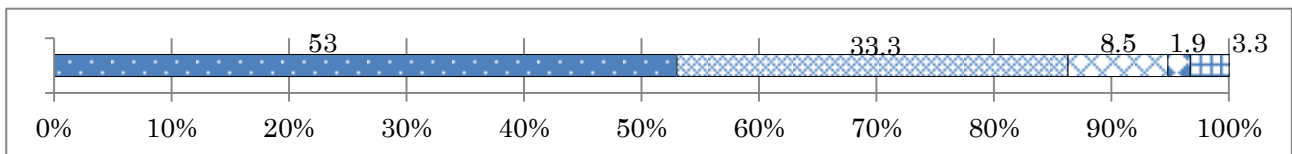
93.2%という高い評価をいただきました。次年度から春日小学校は「学校・地域連携推進校」となります。(平成30年度までに区内すべての学校が「学校・地域連携推進校」となります。)今までの取組を活かしながら、保護者・地域の皆様と連携し、新たな取組を行うことを目指していきます。

(13) 「学校の教室や廊下、特別教室、校庭など環境整備は行き届いている」について

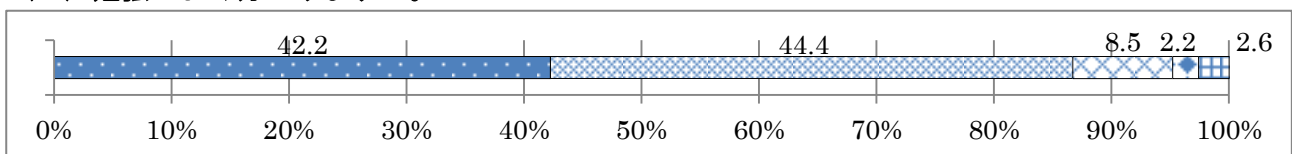
肯定的な評価は99.3%で非常に高い評価でした。「学校内のトイレや手洗い場などの衛生管理、草木の手入れなど非常にきれいになり、気持ちよくなった。」というご意見がありました。これからも、よい教育活動が行えるように環境整備に努めます。

2 児童のアンケート結果

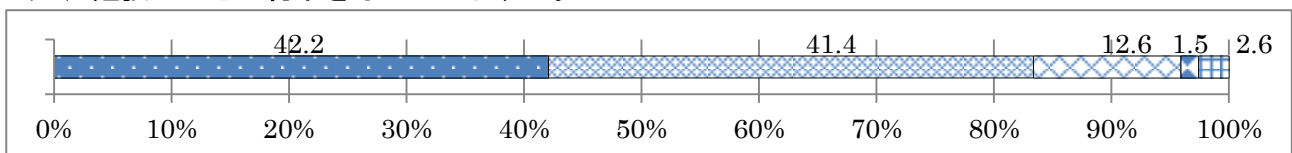
(1) 学校が楽しいですか。



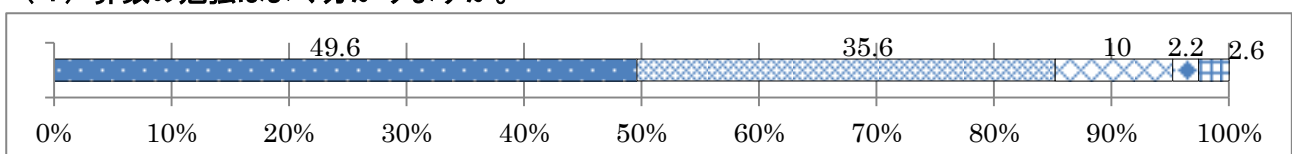
(2) 勉強がよく分かりますか。



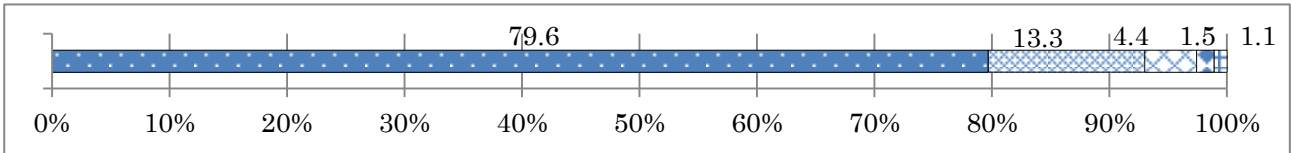
(3) 勉強のときの約束を守っていますか。



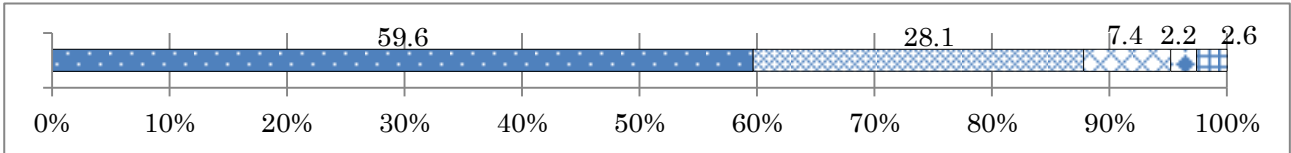
(4) 算数の勉強はよく分かりますか。



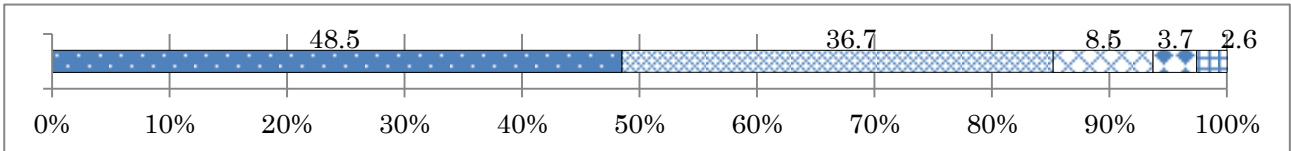
(5) 体育の勉強は楽しいですか。



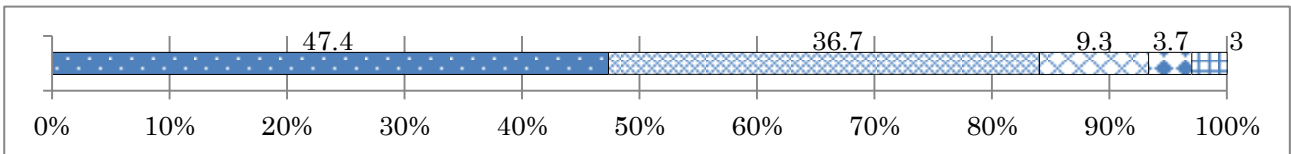
(6) 体育の勉強でいろいろなことができるようになりましたか。



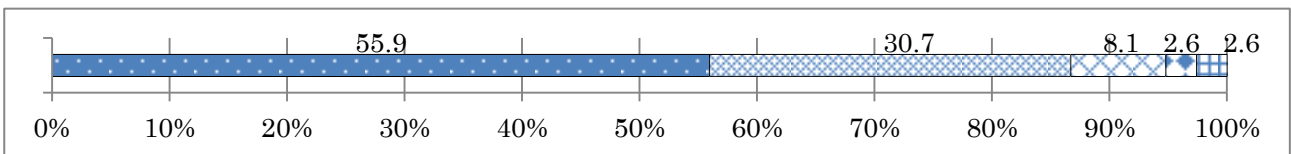
(7) 生活科や総合的な学習の時間に、いろいろ調べたり、見つけたりしていますか。



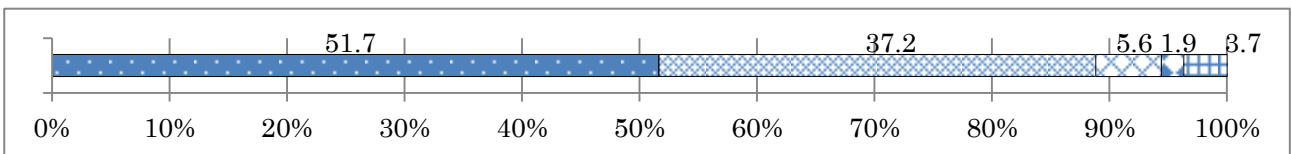
(8) 春日小の生活のきまりを守っていますか。



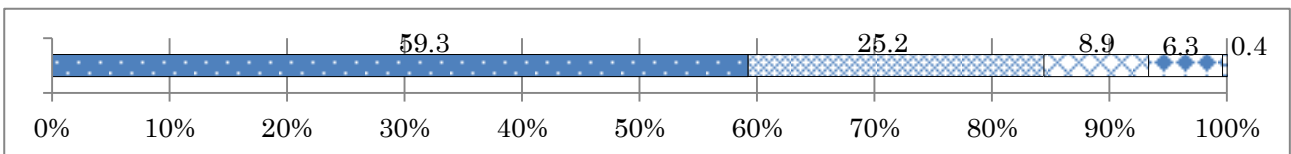
(9) あいさつができていますか。



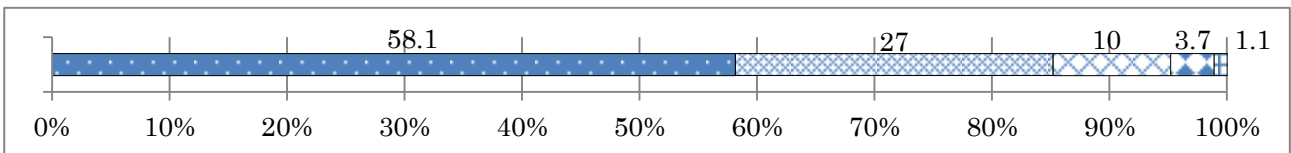
(10) 友だちとなかよくしたり、友だちの気持ちを考えて行動したりしていますか。



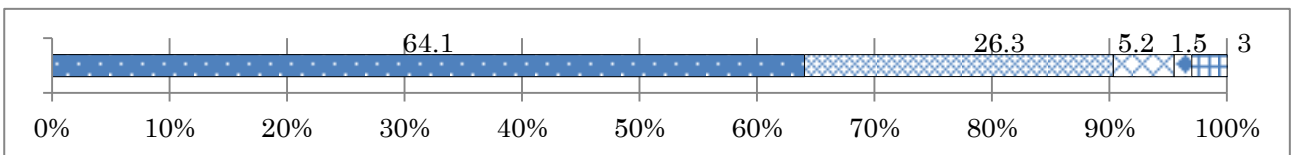
(11) 休み時間に外に出て遊んでいますか。



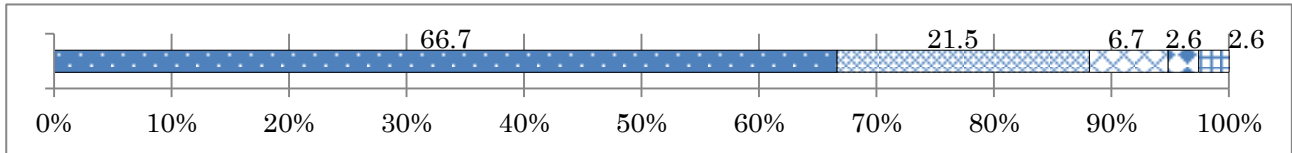
(12) 毎日元気に過ごせるように、よくねて、ごはんをしっかり食べていますか。



(13) 約束をまもって、給食を食べていますか。



(14) 危険なことやあぶないことにならないように、考えて行動していますか。



【 考 察 】

アンケートのすべての項目で「とてもそう思う」「そう思う」という肯定的評価が80%を超えています。特に、「体育の勉強は楽しいですか。」では、92.9%という高評価になっています。昨年度、体育科の研究に取り組み、それを継続してきたことがこの評価に結びついたと考えます。さらに、「休み時間に外で遊んでいますか。」の肯定的評価が、昨年度の76%から85%になりました。すすんで運動するために実施してきた「全校一斉運動遊び」の成果と考えられます。この「全校一斉運動遊び」については、次年度もさらに充実した内容で取り組み続けていきます。

3 教員の自己評価の結果

よくできた・・・4 できた・・・3 あまりできなかった・・・2 できなかった・・・1

項 目	評価
計画的な授業を実施する。	3.6
わかりやすい授業を実施する。	3.9
算数科少人数習熟度別指導またはチームティーチングでの授業を実施する。	3.9
個に応じた指導の充実を図る。	2.9
総合的な学習の時間・生活科で探究的な学習を行う。	3.5
小中連携教育を充実させる。	3.1
基本的な生活習慣を身に付ける。	3.1
あいさつ、返事の指導し、定着させる。	3.1
道徳の授業を充実させる。	3.0
思いやりや優しさを育てる。(いじめの防止)	3.5
体育の授業を充実させる。	3.1
休み時間の外遊びを推進する。	3.4
オリンピック・パラリンピック教育推進のための取組を実施する。	2.6
危険なことを予測したり、回避したりする力を育てる。	3.1
望ましい食習慣を身に付ける。	3.2
保護者・地域の方と連携して学習を充実させる。	3.2

今回の教職員自己評価では、ほとんどの項目が3ポイントを超え、結果は概ね良好と言えると思います。その中で、3ポイントを越えなかった「個に応じた指導の充実を図る。」については、朝学習「春日タイム」で、国語、算数に重点を置き、学習したことが身に付くようにドリル等を使いながら、一人一人の子供たちにあった指導をしていきたいと考えます。また、「オリンピック・パラリンピック教育推進のための取組を実施する。」については、今年度、伝統文化に触れる学習や環境に関しての学習などを各学年で行ってきました。指導計画を改善して、次年度は、新たな指導計画に基づいて、様々な教科でオリンピック・パラリンピック教育を行ってきたいと考えます。

4 学校関係者評価

自己評価の結果を受けて、学校評議員の皆様から次のようなご意見をいただきました。

(1) 成 果

- ・ 多くの子供が学校生活に満足していることは良いことだと思う。
- ・ 学習の時のきまりを守っている子供が多く、落ち着いて学習できていることは大切である。
- ・ あいさつは昨年度よりできる子供が増えてきたと思う。今後も増えていってほしい。
- ・ 運動する機会が少ない子供も多いので、「全校一斉運動遊び」(体育的活動)をするのはいろいろな遊びや運動ができてよいと思う。
- ・ 読み聞かせを行うことは、子供の心が豊かになるなどよい影響があると思う。
- ・ 地域や外部の方々の協力を得た教育活動を行うことはよい。

(2) 課 題

- ・ 「生活のきまり」については、なんでも単純に禁止等にするのではなく、子供自身に考える力や判断力を付けていく必要があると思う。
- ・ オリンピック・パラリンピック教育については、保護者、地域の方に対しても周知を図って、内容を充実させていってほしい。
- ・ あいさつについては、しっかりできている子供をお手本として、まわりの子供もあいさつができるようにするとよい。
- ・ 大人も自らあいさつをするなどして、良い姿を見せる必要があると思う。
- ・ 今年度は学力向上支援講師が、当初の予定通りに配置されなかったため、子供たちの支援を計画通りに行えなかったということなので、次年度は、学力向上支援講師を活用して、子供たちの学習をより良く行ってほしい。

(3) 改善策

- ・ 次年度は、1、2年生の算数科に担任とともに学力向上支援講師が入って、T・T体制で授業を行うことで、よりきめ細かく指導を行っていく。
- ・ 「生活のきまり」については、年間を通して指導する。その中で、きまりの意味を子供たちに考えさせるなどして、判断力を育てていく。
- ・ あいさつについては、意義を理解させながら継続して指導をしていく。あいさつ週間や掲示物の活用など指導を工夫する。また、保護者、地域にも協力をお願いする。
- ・ 「全校一斉運動遊び」(体育的活動)は、内容を改善、工夫して実施し、子供の運動や遊びの経験を増やす。
- ・ 次年度も読み聞かせを行っていただき、子供の心を育てる。
- ・ 子供の体験的な活動や探究的な活動を実施するために、次年度も、地域、保護者の方々の協力をお願いする。そして、子供の自ら学ぶ力を伸長する。
- ・ オリンピック・パラリンピック教育については、指導計画を見直して実施していく。実施内容については、保護者や、地域の方々にも発信していく。

5 今後の対応(平成29年度に向けて)

☆ 学力の定着のために

- ・ 算数科では、1、2年生は担任と共に学力向上支援講師が指導を行うT・T体制での授業を実施します。複数で指導をすることで、子供たちの学習の様子をよりきめ細かく見て、支援をしていきます。また、3～6年生では、引き続き少人数習熟度別学習を行います。子供たちの学習状況にあったコースで学習し、意欲を高めていきます。

- ・朝学習「春日タイム」では、算数、国語に重点を置いた学習を行い、学習したことがしっかりと定着できるようにしていきます。

☆ 体験的な活動や探究的な活動の充実

- ・総合的な学習の時間や生活科を中心にして、体験的な学習や探究的な学習を十分に行い、自分で考え、課題を解決していく力を育てていきます。ゲストティーチャーを招いて学習したり、保護者や地域の皆様の力をお借りして体験的な活動をしたりするなど、様々な活動を行って学習を充実させていきます。

☆ すすんであいさつができるように

- ・あいさつについては、元気にできる子供が増えてきています。あいさつをすすんでできる子供たちを褒めて、まわりによい影響を与えられるようにするとともに、あいさつの意義や大切さを日常的に指導していきます。また、今年度作成した掲示物『気持ちがいいね そのあいさつ』を使ったり、あいさつ週間を設けたりするなど工夫して指導していきます。

☆ 体力向上や健康な生活を目指して

- ・次年度も「体育科の学習が楽しい」と子供たちが思い、意欲的に学習できるように指導を工夫していきます。そして、楽しく学習していく中で、子供たちに「できた」「うまくなった」という経験をさせて力をのばしていきたいと思います。また、体育的活動「全校一斉運動遊び」も内容を改善して行い、子供たちの運動経験を増やしていきたいと考えます。
- ・来年度も健康についてのリーフレット『生き生き元気 春日の子』を活用し、ご家庭で、親子一緒に健康について考え、実践していく機会をつくっていきます。

☆ 豊かな心を育てるために

- ・引き続き、読み聞かせをしていただいたり、読書週間を設けたりすることで本に親しむ機会をつくり、子供たちの心を育てる機会としていきます。
- ・いじめや不登校の未然防止や適切な対応のために、毎月、アンケートを行います。また、児童面談も行うなどして、子供たちの様子をしっかりと把握し、適切に指導していきます。
- ・来年度は、「展覧会」を行います。子供たちの創造力を大切にしながら、作品を創り上げていきたいと思います。

☆ 3年生からの外国語活動の実施

- ・2020年度から英語科の学習が始まります。それに向けて、段階的に外国語活動を増やしていきます。これまでの「5・6年生の外国語活動」に加えて、次年度は「3・4年生の外国語活動」も計画的に実施していきます。